

各 位

会 社 名 日本ユピカ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 上石 邦明  
 (JASDAQ・コード7891)  
 問合せ先 役職 取締役管理部長  
 氏名 塚田 和男  
 電話 03-6850-0261

平成 27 年 3 月期 第 2 四半期業績予想と実績との差異及び

通期業績予想の修正、並びに特別損失の計上に関するお知らせ

平成 26 年 5 月 8 日及び平成 26 年 7 月 24 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期第 2 四半期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）の業績予想と、本日公表の実績における差異、及び通期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）業績予想の修正、並びに特別損失の計上につきましてお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期 第 2 四半期累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）における、  
 予想数値と実績との差異

(1) 個別

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	5,900	90	55	10.01
今回修正 (B)	5,522	△25	△25	△4.60
増減額 (B-A)	△377	△115	△80	—
増 減 率	△6.4%	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	5,667	76	46	8.54

(2) 連結

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	6,800	50	35	30	5.46
今回修正 (B)	6,394	1	△23	5	1.08
増減額 (B-A)	△405	△48	△58	△24	—
増 減 率	△6.0%	△97.9%	—	△80.1%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	6,544	33	69	43	7.95

## 2. 平成27年3月期 通期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）業績予想の修正

### (1) 個別

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	12,100	360	230	41.85
今回修正 (B)	11,300	170	100	18.19
増減額 (B-A)	△800	△190	△130	—
増減率	△6.6%	△52.8%	△56.5%	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	11,634	329	193	35.18

### (2) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	14,500	390	380	250	46.40
今回修正 (B)	13,500	220	220	150	27.29
増減額 (B-A)	△1,000	△170	△160	△100	—
増減率	△6.9%	△43.6%	△42.1%	△40.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	13,663	260	297	172	31.44

## 3. 理由

### (1) 第2四半期累計期間における予想数値と実績との差異

個別では、売上高は住宅機材、耐蝕機器向け等の減少により当初の予想を下回る結果となりました。利益面では売上高減による減少に加え、連結子会社の純資産低下による関係会社株式評価損（特別損失）及び貸倒引当金繰入（営業外費用）により当初の予想を下回る結果となりました。連結では個別の状況の他に、中国子会社においては、営業利益を確保したものの、為替差損の計上により利益面で減少となりました。

### (2) 通期業績予想の修正

個別では、上期の状況に加え下期におきましても売上高は当初の予想を下回る見込みとなり、それにより利益面におきましても当初の予想を下回る見込みとなりました。連結では個別の状況の他、第2四半期で利益を圧迫していた中国子会社の為替差損は、通期では解消する見込みであります。

## 4. 特別損失の計上について

第2四半期累計期間の個別決算におきまして、連結子会社の純資産低下により、特別損失に関係会社株式評価損7百万円を計上しております。なお、この関係会社株式評価損につきましては、連結上相殺消去されるため連結業績への影響はありません。

\* 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上